

## 【令和4年第3回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■ 3月16日発生した福島県沖地震により被災した光陽クリーンセンターの復旧状況について

地震翌日以降、被災状況について詳細な調査を行った結果、焼却炉ストーカ火格子駆動装置の破損、耐火煉瓦の剥離、再燃焼室上部の亀裂、配管フランジの結合部の破損、ダクト類の伸縮継手の破損と脱落、薬剤輸送配管の焼損、焼却棟施設点検歩廊の断裂など、焼却炉本体や排ガス処理設備等に大きなダメージを受けていることを確認しました。

破損した部品のうち薬剤輸送配管や耐火煉瓦等は、納期に数ヶ月を要することから、交換が必要な部品類について、順次、発注の手配を行うなどプラントメーカーと連携し、対応してまいりました。

去る5月6日、復旧に要する概算費用とスケジュールが確定したことから、相馬市及び新地町に復旧費用の負担を要請し、一般会計補正予算の専決処分を行い、5月19日に復旧工事に着手いたしました。

受注生産の部品類が計画どおり入荷したこと、また、復旧作業が順調に推移したため、6月27日に復旧工事が完了いたしました。

現在、各機器類の作動状況を確認しながら、試運転を行っており、7月上旬には、本格稼働となる見込みとなっております。

■ 組合施設の放射能測定値の状況について

有害鳥獣焼却場で発生する排出灰については、6月15日測定の結果、主灰が430ベクレル、飛灰が14,390ベクレルでした。

衛生センターで生産している肥料については、6月15日測定の結果、130ベクレルとなっており、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■ 組合施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

本年4月からの処理状況については、6月23日現在で、26頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

平成28年4月からの稼働以来、5,226頭を焼却処分しております。

○衛生センター及び一里壇斎苑について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移しております。

#### ○松川浦環境公園について

新型コロナウイルス感染予防のため、研修棟については、利用制限を行っているものの、令和3年度は、公園全体では年間延べ、5,210人の来園がありました。

#### ■病院事業について

去る3月16日に発生した福島県沖地震により破損した設備のうち、貯水能力が低下した高架貯水槽については、国の医療施設等災害復旧費補助金を活用し、5月13日に復旧工事に着手し、7月中の工事完了を目途に作業を進めております。

また、被災した電気設備、給水設備等についても、早期復旧に向けて工事を進めております。

#### ○新型コロナワクチンの接種について

4月に開始された、相馬市、新地町が実施主体となる5歳から11歳への集団接種、及び相馬市が実施する12歳から17歳への3回目の集団接種に対し、医師、看護師などの職員を派遣しております。

また、今月23日から相馬市が実施している60歳以上及び基礎疾患を有する住民などへの4回目の集団接種に対し、医師、看護師、事務職員を派遣しており、来月13日から予定されている新地町の4回目の集団接種についても、医師、看護師、事務職員を4回程度派遣することとしており、今後も市、町の集団接種が迅速かつ安全に行えるよう積極的に協力してまいります。

院内で行う個別接種については、高齢者を含む12歳以上の方は週1回、5歳から11歳の接種は週2回実施しており、7月8日からは、4回目の接種についても実施する予定です。

#### ○発熱外来の診療体制について

発熱外来を相馬郡医師会相馬支部と連携し、4月1日より、受付時間を午後0時30分から午後2時15分まで、診療時間を午後1時から午後3時までとし、土日祝日を含め、毎日実施しております。

#### ○新型コロナの院内感染防止対策について

入院時や手術前のPCR検査等に加え、入院患者への面会制限などに、継続して取り組んでおります。

#### ○コロナ陽性患者の入院受入れ状況について

当院は、県の重点医療機関の指定を受け、コロナ陽性患者、あるいは疑い患者を受入れるため、病床等の整備を行い、6月26日現在、県からの要請を受けた延べ195人を入院患者として受け入れております。